

令和7年度 当初予算編成方針

財政部

令和6年10月

基本的な考え方・基本方針

1 令和7年度予算編成に係る基本的な考え方

- ◎ 令和7年度は、中期的な財政見通しに立ち、令和7年度いわき版「骨太の方針」のもと、人口減少や少子高齢化、担い手不足、公共施設等の老朽化、頻発・激甚化する自然災害、地域の活力の低下など、本市をとりまく様々な課題に対し、全ての分野でベースとなる「人づくり」を着実に推進し、人口減少社会にあっても、将来にわたり持続可能なまちづくりを推進する。
- ◎ 若者から高齢者まであらゆる世代がいわきに魅力を感じ、いわきを誇りに思うまちを「人づくり」で実現するため、次の2点を基本方針として、行政資源を課題の解決と未来への投資に再配分し、予算編成に取り組む。

2 基本方針

① 「人づくり日本一」の実現を目指した政策の推進

01 次世代を育てる



教育
子育て
担い手

02 命・暮らしを守る



防災
医療/健康
暮らし

03 まちの魅力を高める



まち
環境/GX
地域交通

04 豊かさを創る



産業
農林水産
観光/文化
/スポーツ

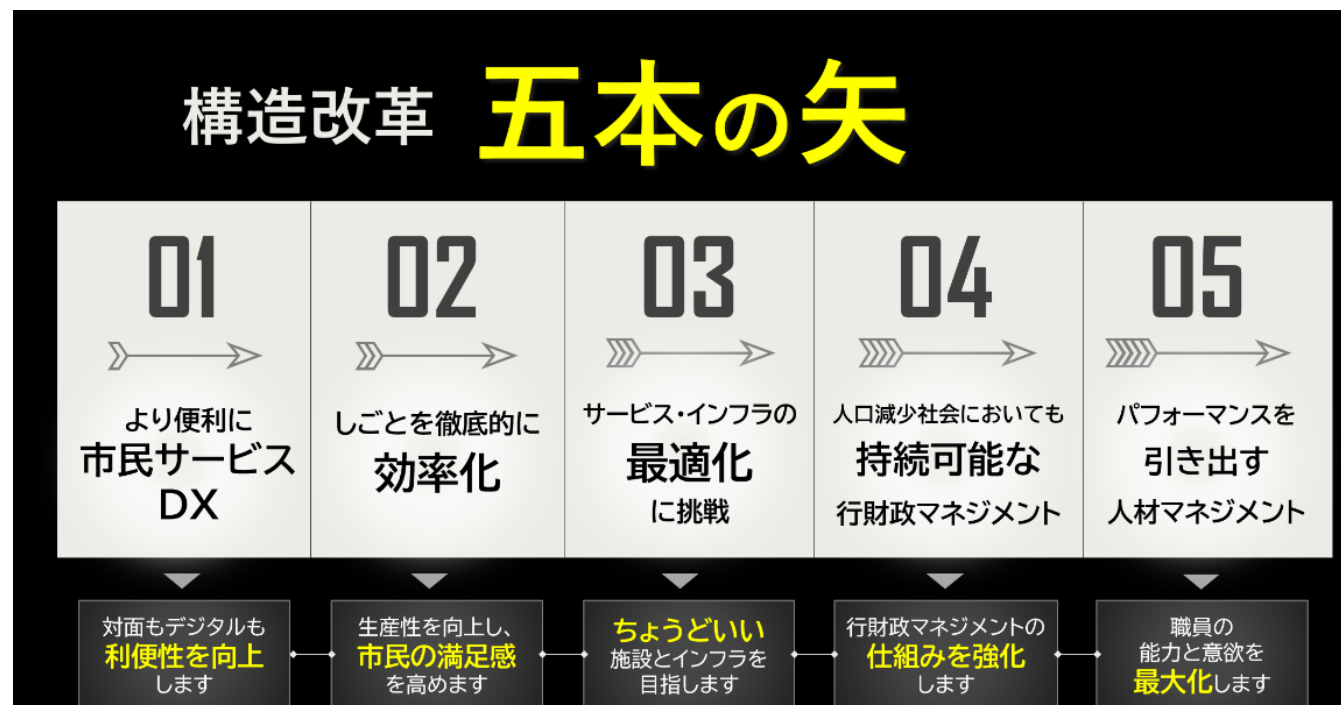


構造改革・DX

基本方針

② 将来にわたり持続可能な行財政運営の確立

- ◎ 職員一人ひとりがいわき市改革のエンジンであるという意識をもって、従来の発想にとらわれず、改善や見直しを徹底的に推進。
- ◎ 市民サービスのデジタル化や業務効率化に向けた行政DXの推進、業務のスリム化・マネジメントの適正化、公共施設等の最適化、職員の能力と意欲を最大化する人材マネジメントなど、構造改革の取組みを着実に推進。
- ◎ 行政資源を課題の解決と未来への投資に再配分するため、既存の取組みのスクラップを躊躇なく実行。
- ◎ 市債発行については、可能な限り抑制。



本市の財政状況～令和7年度の財政見通し～

① 歳入面

- ◎ 経済活動の回復等に伴い市税は増加が見込まれるものの、地方交付税は減少。
- ◎ 地方財政収支の仮試算では、歳出の増に伴い地方交付税が1.7%増となることを見込まれているものの、地方財政対策等の詳細が明らかでない現段階において、一般財源総額の大幅な増加を見込むのは困難。

限られた財源をより有効に活用する必要

② 歳出面

- ◎ 「人づくり日本一」の実現を目指した「いわき版「骨太の方針」」に基づく取組みの推進。
- ◎ 老朽化が進行する各公共施設等の老朽化対策や再編・再配置等に向けた取組みの推進。
- ◎ 市民利便性の向上や業務効率化等に資する構造改革の推進。

多額の財政需要・
財政調整基金の
取崩しが必要

③ その他 (懸念事項)

- ◎ エネルギー価格や物価の更なる高騰が懸念。
- ◎ 激甚化・頻発化する自然災害への防災・減災に向けた取組みの推進。
- ◎ 万が一発災した場合に多額の財政需要が必要となる恐れ。

更なる収支不足
が発生する可能性

財政収支の見通しは、
予断を許さない状況

経費区分別要求基準

区 分	経費の主な内容	要求基準
I 義務的経費	人件費、扶助費、公債費	<u>所要額</u> での要求
II 経常的経費	経常的な事務事業の執行や施設管理に要する経費	<u>部等ごとの一般財源枠配分方式</u>
III 政策的経費	いわき版「骨太の方針」に位置付く事業に係る経費	<u>原則、継続事業は部等ごとの一般財源枠配分内での要求</u> <u>新規・拡充事業等は所要額での要求</u>
IV 臨時的経費	大規模な維持補修事業等、災害復旧事業、長寿命化事業等、指定事業に要する経費	<u>所要額</u> での要求